

バイオ甲子園2021

【発表の部】

審査結果発表

最優秀賞

宮崎県立宮崎北高等学校
科学部

「ハクセンシオマネキの求愛ダンスに迫る」



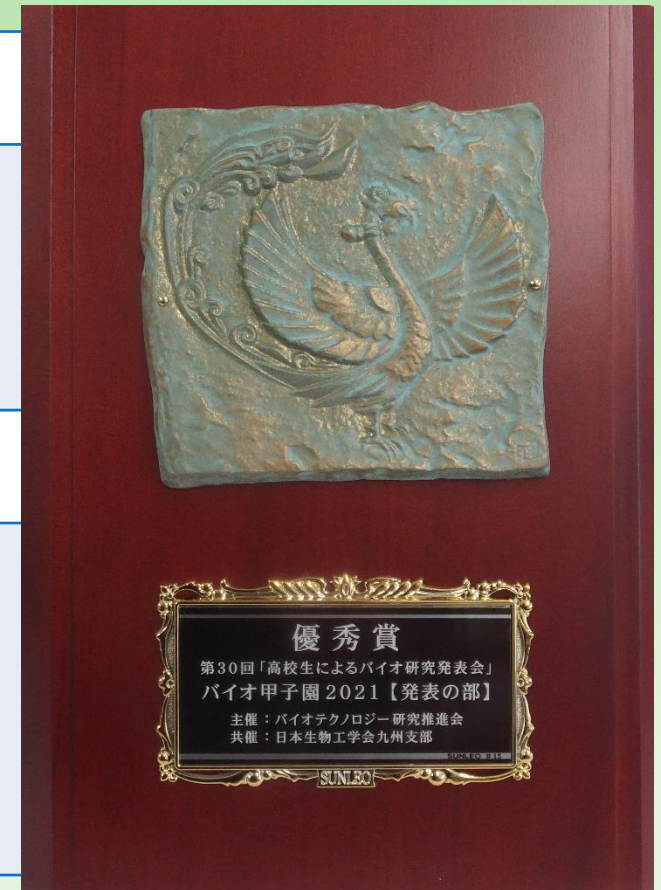
優秀賞

鹿児島県立国分高等学校 サイエンス部 2年 生物班

「匂いで識別？カビゴケの不思議な生態」

青森県立名久井農業高等学校 環境研究班

「乾燥地の持続的農業のために
～塩類集積抑制技術の開発～」



バイオ甲子園2021 総評

みなさん発表お疲れ様でした。

30回目の大会だったのですが、コロナ禍での状況の中本来の形式ではなく、論文発表とリモート発表の形式で開催いたしました。なかなか思うようにイベントが行えない中、バイオ甲子園を開催することが出来たのは、皆さんの日頃の努力と関係各位のご協力のお陰と思っております。お礼申し上げます。

論文発表は25報の申請があり、本来は最優秀1報、優秀賞2報を予定しておりましたが、非常にレベルが高く、選考が難航したため、さらに入賞を3報選ばせていただきました。

リモート発表の部は11題申請があり、こちらの審査に関しても難しいところありましたが、5題の発表、入賞を選ばせていただきました。

発表審査に関しても、点数の差はほとんどなく残りの2題の発表も僅差でしたが、最優秀賞、優秀賞3題が選ばれ、本日の結果となりました。

本日受賞された高校の方はお祝いを述べたいと思いますが、残念ながら逃した高校の皆さんも肩を落とさず来年も挑戦していただければと思っております。

発表内容に関しては、過去の先輩方の研究を継承して更に発展している内容や、新しくプログラミングを用いたり、機械学習を導入する新規の視点でバイオ研究に取り組むところもみられ、今後の発展が期待できる内容だったと思います。3年生の皆さんは後輩に託して、更に1.2年生の皆さんは来年また本大会で発表していただければと思います。本来は、一つの会場に集まり、ステージの上に上がって発表する緊張感や他の高校の研究に取り組む人たちと交流するというのも大切な機会です。そのようなことが今回は出来ませんでした。来年以降状況が治まる事を祈って、また皆さんとお会いできることを楽しみに致しております。

バイオ甲子園2021審査委員長